

講座名	ぜんそうのせいかつとしょうがい				
	禅僧の生活と生涯				
主担当 講師	おがわ たかし		駒澤大学 総合教育研究部 教授		
	小川 隆				
概要	<p>禅は日々の暮らしに密着した宗教です。 どんなに高次の悟りも、どんなに徹底した否定精神も、平常の日常茶飯を離れることはありません。 禅について知るには、禅僧がどのように日々を暮らし、どのような生涯を送ったかを知ることが、とても重要な意味をもちます。 今回の講座では、そのような観点から、中国の禅僧たちの生活と生涯についてご紹介します。 予備知識の無い初めての方にも気軽に親しんでいただけるように解説しますが、長く禅の勉強をなさっている方にも、きっと新しい発見や納得を得ていただけると思います。</p>				
回数	全 4 回	受講料	4,000 円	配信 期間	9月
講座 レベル	初級	定員	200 名	講座 形式	オンデマンド形式
第1回	タイトル	出家と受戒——どうして禅の道に入ったか？			
	担当講師	小川 隆 (駒澤大学 総合教育研究部 教授)			
	内容	いにしへの禅僧たちは、どのような因縁で出家し、受戒して、禅僧となっていたのでしょうか？ 幾人かの禅僧の事例をご紹介します。			
	配信期間	9月 8日 (水) ~ 9月 21日 (火)			
第2回	タイトル	行脚 (あんぎゃ) と作務 (さむ) ——旅と労働			
	担当講師	小川 隆 (駒澤大学 総合教育研究部 教授)			
	内容	禅僧たちは師との出逢いを求めて行脚の旅をし、お寺の中では労働 (作務) に励みました。 禅僧たちの行脚と作務に関する故事をご紹介します。			
	配信期間	9月 15日 (水) ~ 9月 28日 (火)			
第3回	タイトル	問答と悟り——禅僧はどのように悟ったか？			
	担当講師	小川 隆 (駒澤大学 総合教育研究部 教授)			
	内容	禅僧たちは、師や友との問答を通して悟りを開き、道を伝えていきました。 禅僧たちの問答と悟りの事例をご紹介します。			
	配信期間	9月 22日 (水) ~ 10月 5日 (火)			
第4回	タイトル	禅僧たちの生老病死			
	担当講師	小川 隆 (駒澤大学 総合教育研究部 教授)			
	内容	禅は生き身の自己を離れません。悟ったからといって、生死 (しょうじ) の現実が無くなるわけではないのです。 禅僧たちは、どのように老い、どのように病み、そして、どのように死んでいったのでしょうか？			
	配信期間	9月 29日 (水) ~ 10月 12日 (火)			
参考 文献	鈴木大拙『禅堂生活』岩波文庫、2016年 小川隆『中国禅宗史—「禅の語録」導読』ちくま学芸文庫、2020年				
受講に あたっての 留意点	<p>受講にあたって特段ご用意いただく必要はございません。 禅についての予備知識は必要ありません。 漢文の資料がいろいろ出てきますが、漢文の読解力も必要ありません。 気軽に楽しく聴いていただけるよう、がんばります！</p>				